

2016年12月期第2四半期 決算説明資料

2016.8.10
株式会社ビジョン
証券コード:9416

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により、実際の実績と異なる可能性があることをご承知ください。

- エグゼクティブサマリー
- 2016年12月期第2四半期決算概要（累計期間：1月～6月）
- 成長戦略の進捗
 - 2016年12月期第2四半期トピックス
- 今期(2016年12月期)見通しについて
- 株式会社ビジョン事業概要
 - 事業概要
 - グローバルWiFi事業
 - 情報通信サービス事業
- 参考資料

エグゼクティブサマリー

- 2016年12月期第2四半期(累計)連結業績

– 売上高	6,952百万円	(前年同期比+20.3%増)
– 売上総利益	3,997百万円	(前年同期比+22.5%増)
– 営業利益	558百万円	(前年同期比+50.2%増)
– 経常利益	531百万円	(前年同期比+24.3%増)
– 親会社株主に帰属する四半期純利益	341百万円	(前年同期比+ 2.8%増)

- 売上高、各利益とも第2四半期(累計)で過去最高。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益においても、前年同期にあった一時的収益(営業外損益、特別損益)の寄与はないものの、増益で推移。
- グローバルWiFi事業、情報通信サービス事業共に順調に推移。
- 継続的な利便性・快適性の向上策としてサービス開発、投資を図ると共に、オペレーション改善により生産性が向上。
- 引き続きサービス拡充、海外展開を推進。

2016年12月期第2四半期決算概要（累計期間：1月～6月）

決算概要(累計期間) 連結損益計算書サマリー



売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に
帰属する
四半期
純利益

いずれも過去最高値

(百万円、%)

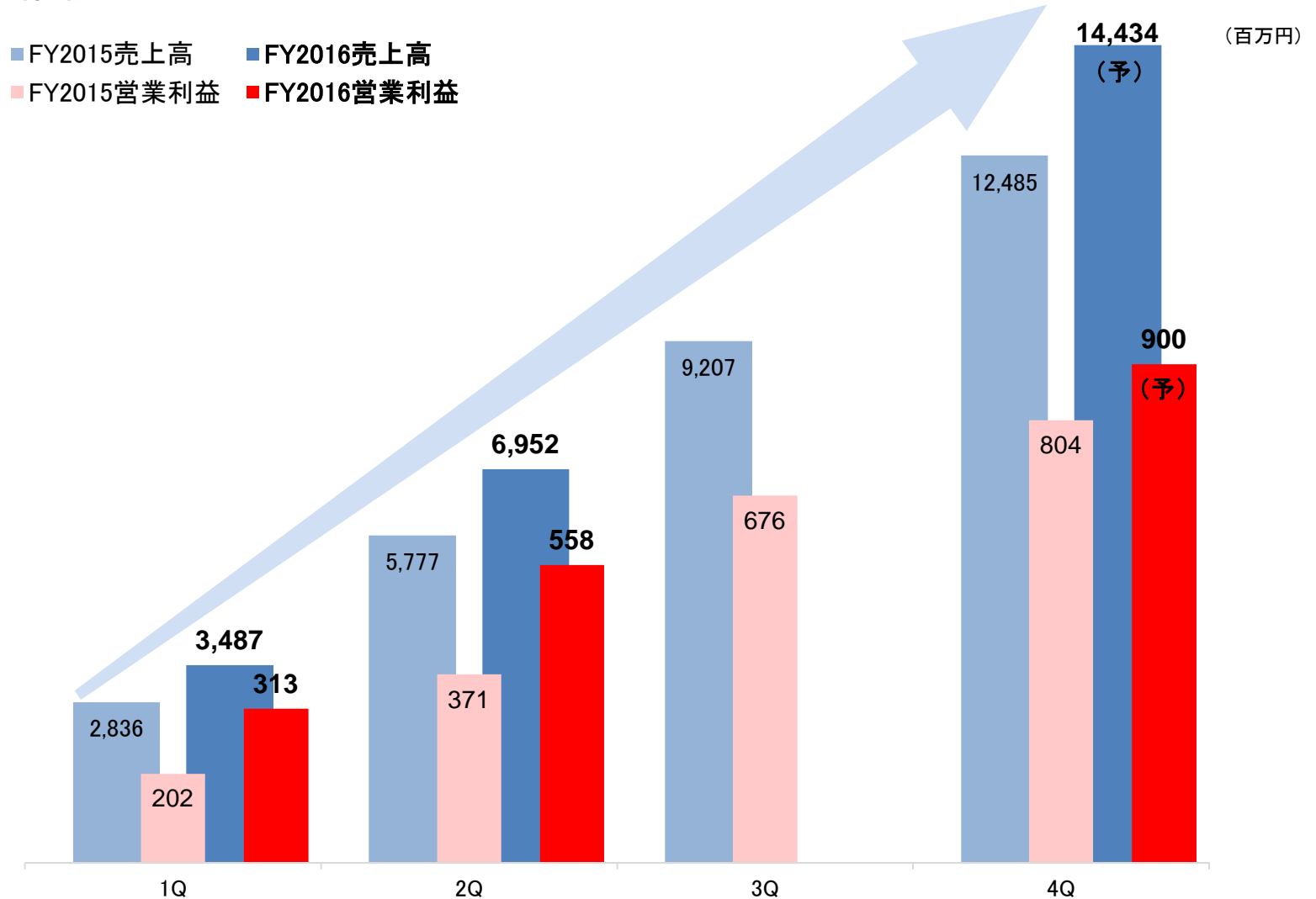
	FY2016/2Q累計		前年同期累計 (FY2015/2Q)		前年同期累計比		総評
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
売上高	6,952	100.0	5,777	100.0	+1,174	+20.3	グローバルWiFi事業、情報通信サービス事業共に順調に推移。
売上原価	2,954	42.5	2,512	43.5	+441	+17.6	売上の伸びに連動して増額ながら、売上原価率が1ポイント改善。
売上総利益	3,997	57.5	3,264	56.5	+733	+22.5	売上高大幅増加。売上総利益率向上。
販売管理費	3,439	49.5	2,892	50.1	+546	+18.9	新卒社員30名増員等により増額ながら、AI(人工知能)活用対応システム(コールセンターコスト削減)活用等による生産性向上により、販売管理費率が低下。
営業利益	558	8.0	371	6.4	+186	+50.2	販売好調、コスト構造の改善により営業利益率向上。過去最高益。
営業外損益※	△27	△0.4	55	1.0	△82	-	佐賀県出店(ビジョン・フューチャー・ビジネスセンター)に係る助成金終了により減少。為替差損計上。
経常利益	531	7.6	427	7.4	+103	+24.3	過去最高益。
特別損益※	△2	0.0	101	1.7	△103	-	前年同期は、株式売却益等を計上。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	341	4.9	332	5.8	+9	+2.8	営業外収益・特別利益の一時的収入※が減少ながら、本業の好調により過去最高益。

(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

Copyright(C) 2016 VISION INC. All Rights Reserved.

売上高・営業利益推移

順調に推移。



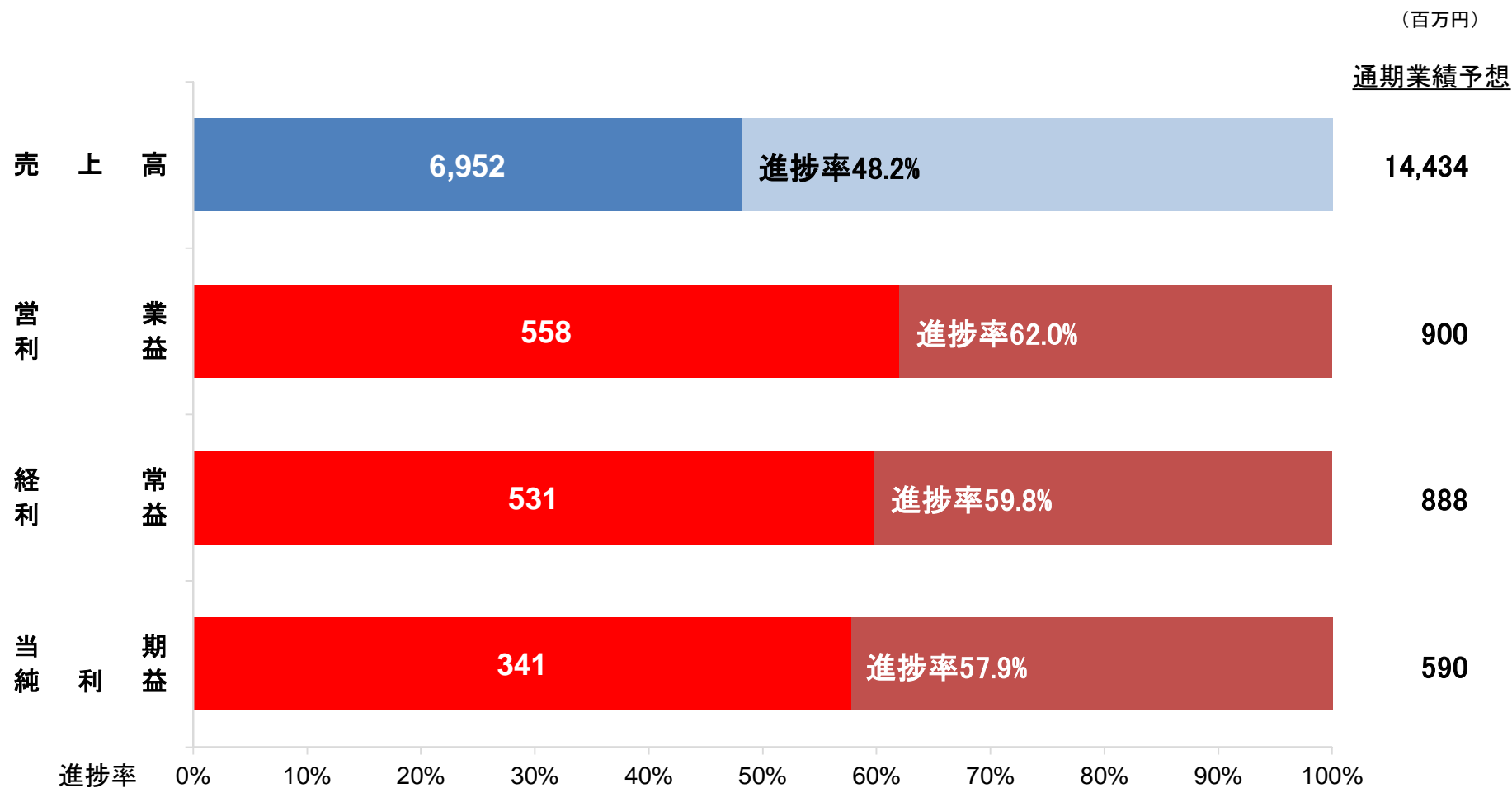
(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

Copyright(C) 2016 VISION INC. All Rights Reserved.

2016年12月期の連結業績予想と第2四半期進捗

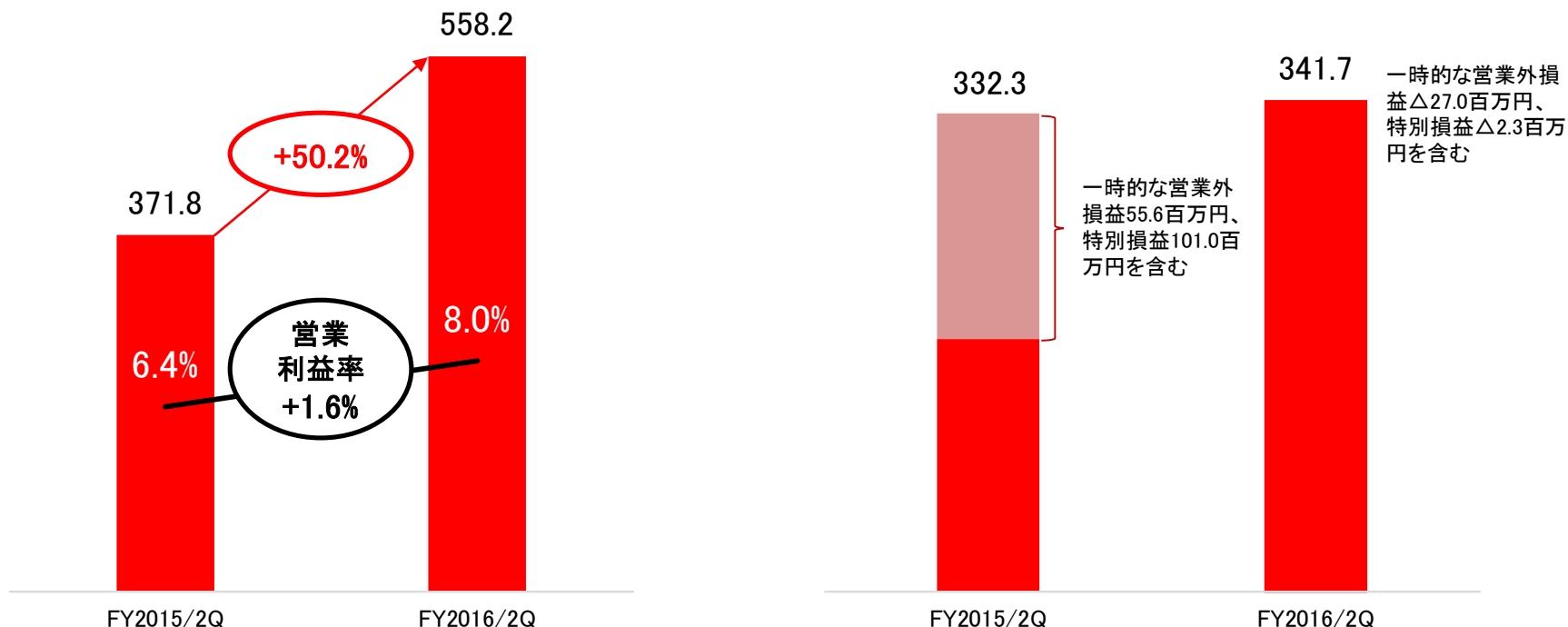


- 着実な受注増と更なる利益体質の強化を推進中。
- 第3四半期は最繁忙期であり、売上高含め順調に推移させる計画。



- 営業利益
 - 大幅増加。利益率も向上。
 - 売上高伸長が牽引。
 - 前年同期累計比 +1,174百万円(+20.3%)
 - 各費用の対売上高比率改善。
 - 売上原価率... 42.5%←(FY2015/2Q)43.5%
 - 販売管理費率... 49.5%←(FY2015/2Q)50.1%
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
 - 一時的な収益の寄与なくとも最高益。

(百万円)

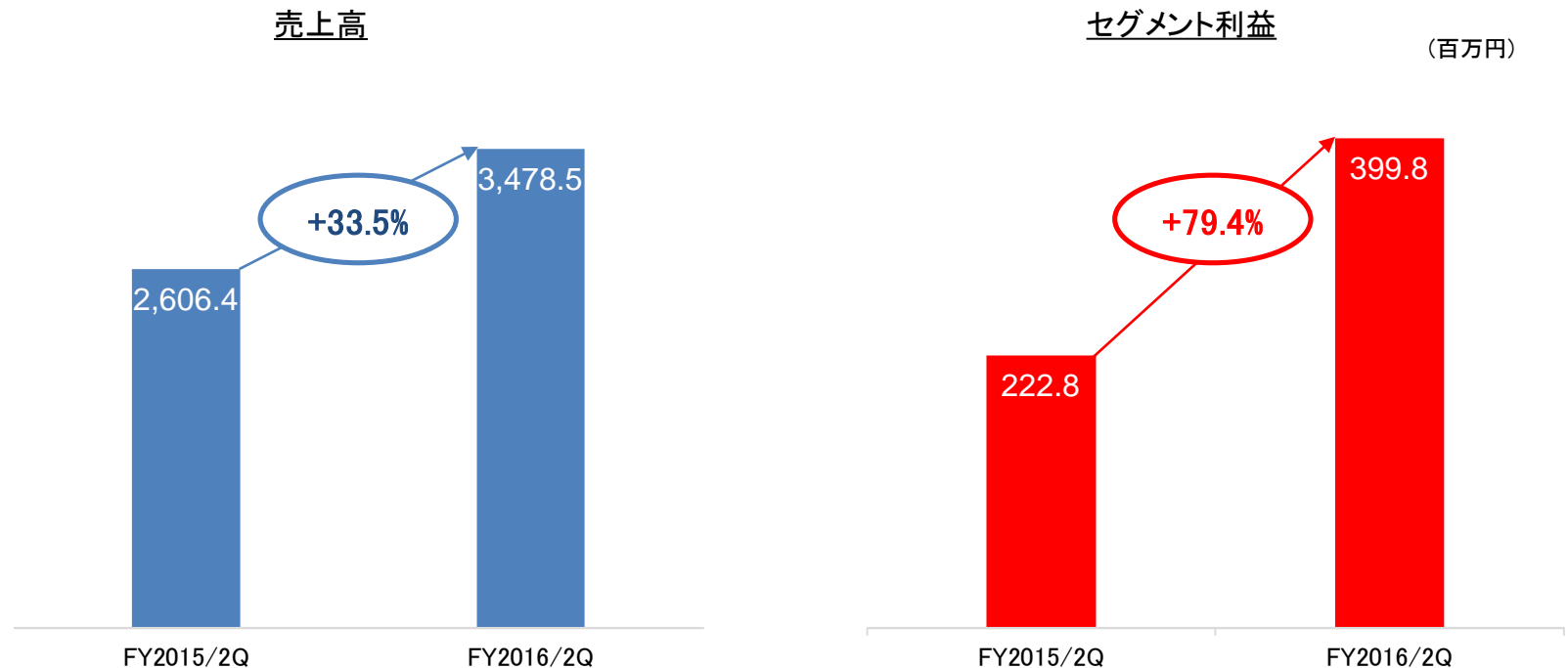


(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

セグメント別業績(グローバルWiFi事業)

閑散期である第2四半期も堅調。売上原価率、販売管理費率の改善も寄与し、大幅な増収増益。

- アウトバウンド(日本からの海外渡航者向け)の需要獲得は順調。
- インバウンド(訪日外国人旅行者向け)の市場拡大も追い風。
 - 当該期間、前年同期比28.2%増の1,171万4千人が訪日。* 出典: 日本政府観光局
- 仕入回線費用低減、オペレーション効率向上、顧客獲得効率向上といった継続的改善策による利益押し上げ。
- サービス向上策と販売管理費抑制策の両立。
 - AI(人工知能)活用による問い合わせ検索内容対策(受注増大でもコールセンター費用抑制) 等

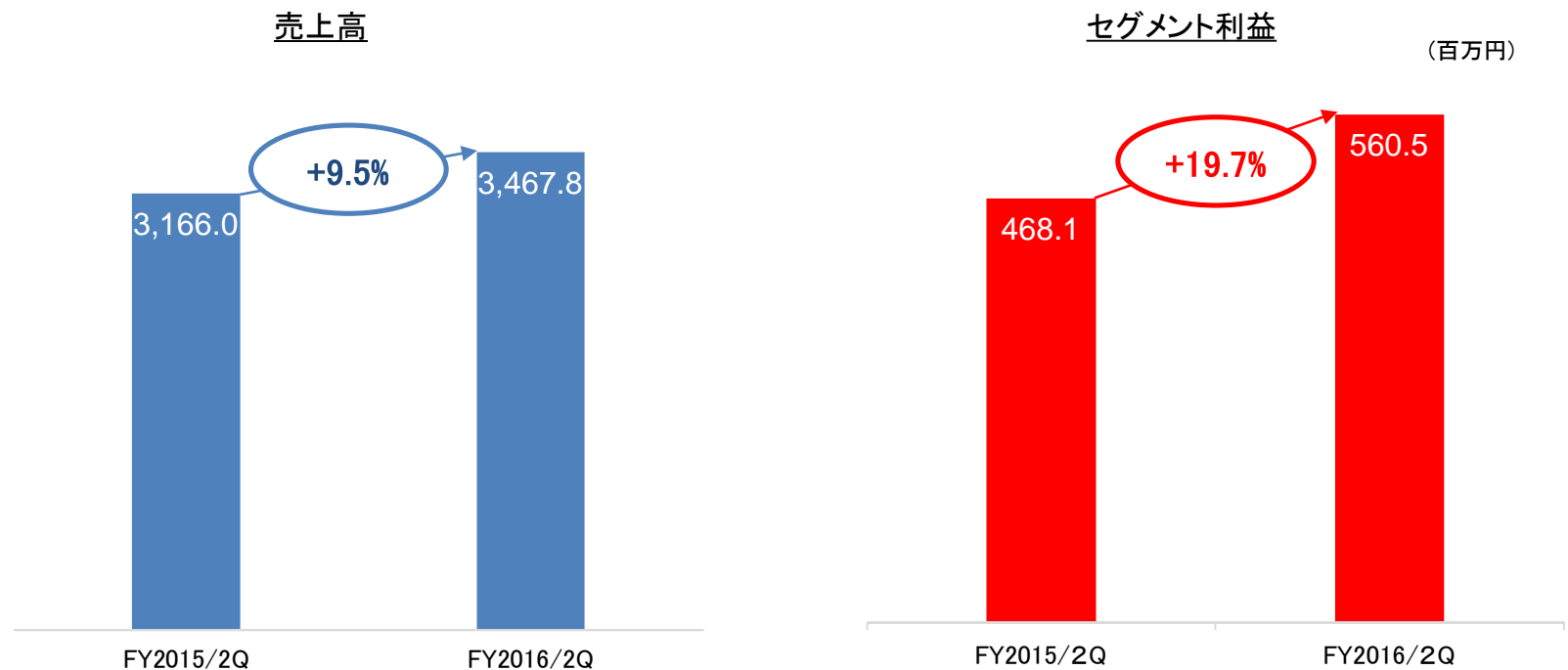


(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

セグメント別業績(情報通信サービス事業)

安定した収益を確保。継続実行している戦略的取組みが寄与し、増収増益。

- 主要ターゲット(新設法人・ベンチャー企業・チェーン店舗)の取り込みが順調に推移。
- CRM策による継続取引積み上げ。
- アップセル/クロスセル寄与による顧客単価向上。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

連結貸借対照表



(百万円、%)

	FY2016/2Q	前連結会計年度末 (FY2015)	前連結会計年度末比	
	金額	金額	増減	増減率
資産の部				
流動資産	7,449	7,403	+45	+0.6
うち現金及び預金	5,664	5,774	△109	△1.9
固定資産	1,554	1,124	+429	+38.2
うち有形固定資産	273	281	△8	△2.9
うち無形固定資産	372	326	+45	+14.0
【資産合計】	9,003	8,528	+475	+5.6
負債の部				
流動負債	2,253	2,019	233	11.6
固定負債	6	12	△5	△47.2
【負債合計】	2,259	2,031	227	11.2
純資産の部				
【純資産合計】	6,743	6,496	+247	+3.8
自己資本比率(%)	74.9	76.2	△1.3	-

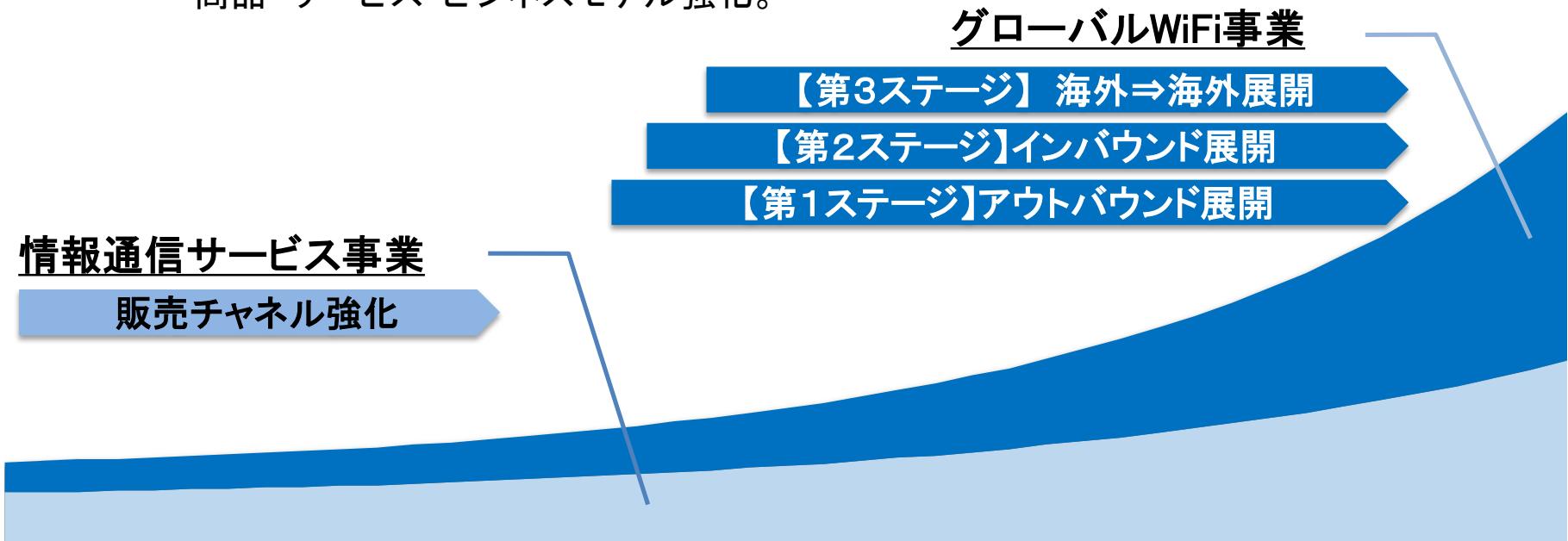
(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

Copyright(C) 2016 VISION INC. All Rights Reserved.

成長戦略の進捗 2016年12月期第2四半期トピックス

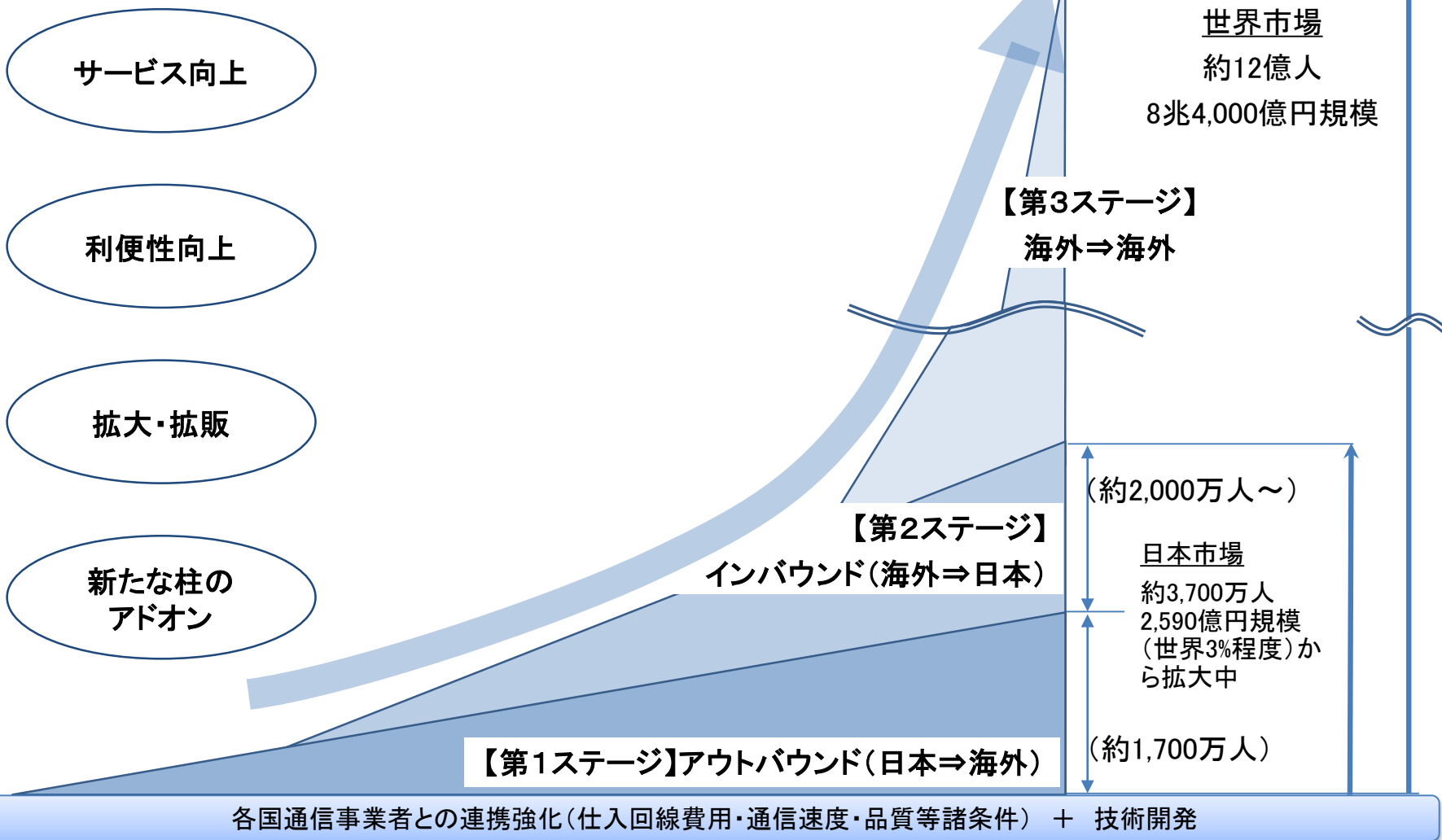
主要2事業セグメントの成長戦略を着実に実行。

- **グローバルWiFi事業**
 - 各ステージそれぞれでの事業展開加速。
 - 情報サービス(メディアサービス・プラットフォーム)をアドオン。
- **情報通信サービス事業**
 - 販売チャネルの強化。
 - WEBマーケティング・営業・パートナー・CLT(カスタマー・ロイヤリティ・チーム)
 - 商品・サービス・ビジネスモデル強化。



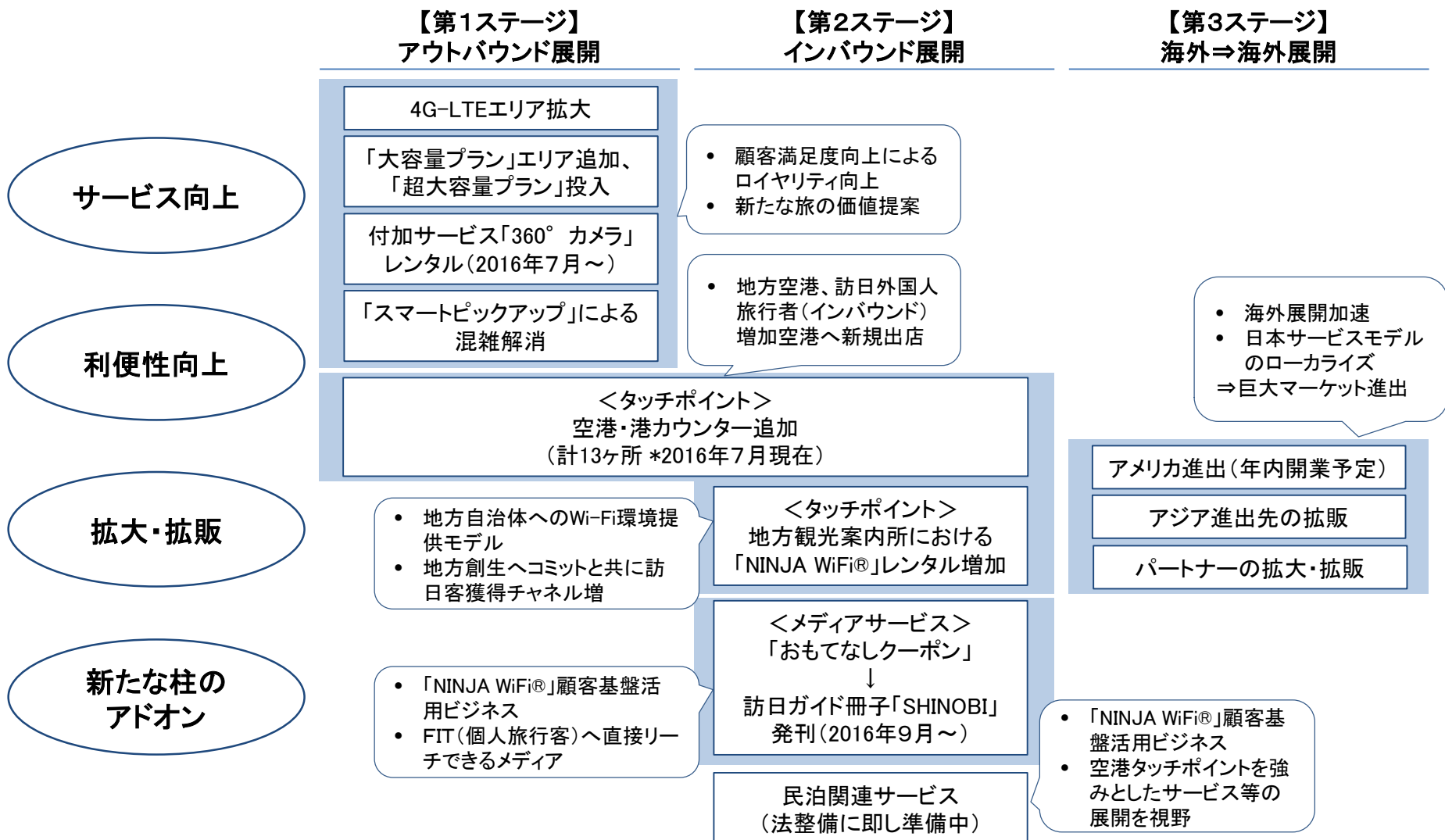
グローバルWiFi事業・成長戦略

各ステージそれぞれにおいて、事業展開を加速。



(注) 市場規模: 観光庁資料・国連世界観光機関(UNWTO)資料参照、当社顧客平均単価から試算

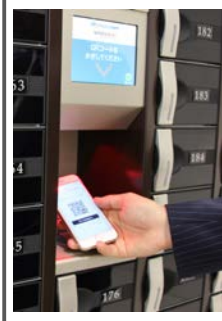
着実な成長戦略の実行を推進。



● スマートピックアップ

- 利便性向上(待ち時間ゼロ化)と運営コスト抑制を両立。
- カウンター窓口稼働の向上による当日申込客獲得増。
- 設置箇所追加、自販機化を準備中。

<羽田空港カウンター>



● タッチポイント増設

- インバウンド(訪日外国人旅行者)取り込み強化。
- 地方空港を中心に増加。

○空港・港カウンター:

富士山静岡空港(4月~)、関西国際空港追加出店(4月~)等増設。

計13ヶ所(2016年7月現在)

- 地方自治体との取組み強化。

○自治体メリット:

- 観光地PRに寄与。
- インターネット接続環境の提供が短期間、低予算で可能。

○観光案内所展開先:

静岡市、三重県内4ヶ所(4月~)、高知県内4ヶ所(7月~)等

計16ヶ所(2016年7月現在)

高知県安芸観光情報センター



静岡市総合観光案内所



- メディアサービス・プラットフォーム
 - 「グローバルWiFi事業」顧客基盤活用。
 - インバウンド含む海外渡航者に、有益で使い勝手のいい“情報”を提供。
 - 情報解析・提供サービスも展開予定。

- ガイドブック(フリーペーパー)(2016年9月発刊予定)
- 「NINJA WiFi Travel Guide “SHINOBI”」
 - 「NINJA WiFi®」をご利用の訪日外国人旅行者向けに直接配布。
 - 掲載希望者(企業・店舗・地方観光地・施設関係者)への広告モデル。

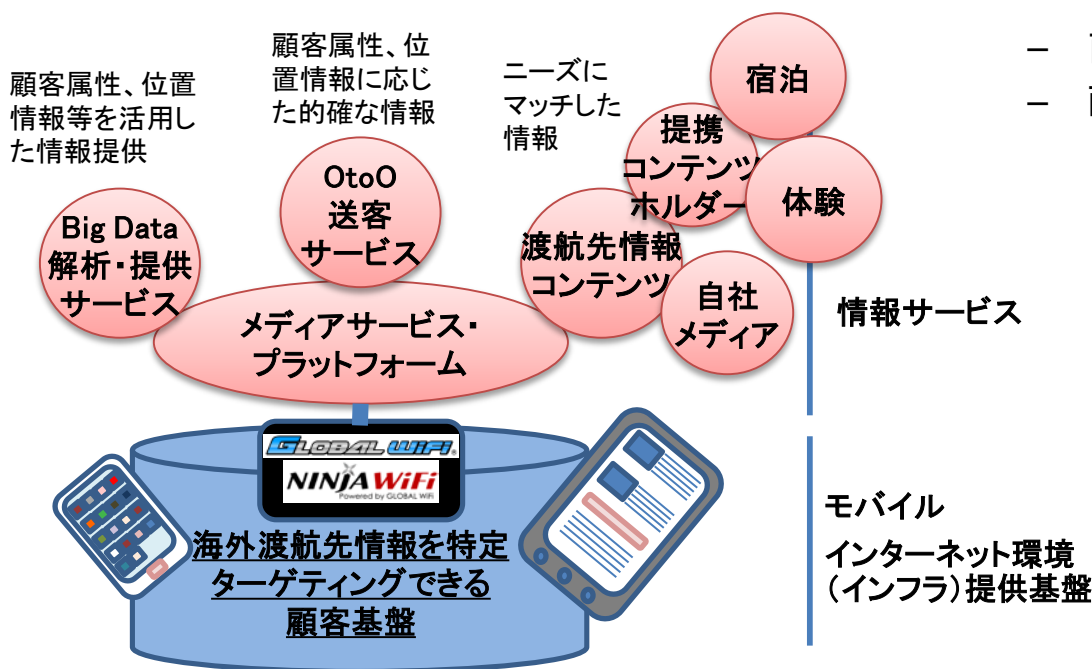
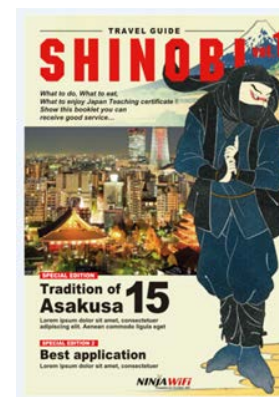
○掲載企業・施設の主なメリット

- FIT(個人旅行者)にリーチできる稀少手段。
- 「NINJA WiFi®」によるモバイル環境がある為、アクション(来店・予約・申込等)率が高い。
- 直接手渡し=確実にお届け。(初回100,000部)
- 配布場所※が多い。

※「NINJA WiFi®」受渡場所...

ビジョン空港カウンター、観光案内所、施設、韓国・台湾のビジョン営業拠点等

SHINOBI(表紙イメージ)



● 海外展開加速

- アジア出店及び海外フランチャイジーの拡大・拡販が進展。
- 北米への進出を実施。
 - 米国・カリフォルニア州へ子会社設立。
 - 年内サービス開始すべく準備中。

● 戦略的アライアンス

事業シナジーが見込める事業領域において、関連各社への出資、事業提携を実施。

○出資

- (中東地域パートナー) グローバルパートナーズ株式会社
 - グローバル化支援事業(海外販路開拓商社。主にUAEドバイにて活動。)
 - 海外渡航する法人へのサービス強化。中東地域での事業展開活動パートナー。
- (旅行付加価値提案・顧客創出) 株式会社BUZZPORT
 - 旅の魅力を伝える情報サービス提供。
 - 相互顧客データの利活用による情報サービス強化、「グローバルWiFi®」利用促進、インバウンド対応。
- (民泊への取組み) 株式会社インヴァランス
 - 不動産デベロッパー(物件の開発、設計、売買、賃貸、管理、建物管理の一体運営。)
 - インバウンド需要、国内出張・旅行者の宿泊需要へ民泊による健全な対応を検討。
(民泊遵法性の研究、宿泊可能室の募集、運営管理、宿泊希望者の募集～提供業務、部屋の通信インフラ整備、宿泊者が滞在中に利用する通信インフラ提供、鍵の手交等を行うサービス拠点等。)

○業務提携

- (サービス拡充・顧客創出) 株式会社エボラブルアジア
 - オンライン旅行業、オフショア開発業
 - 情報通信サービス事業を含めた当社顧客へのサービス拡充、及び相互送客。

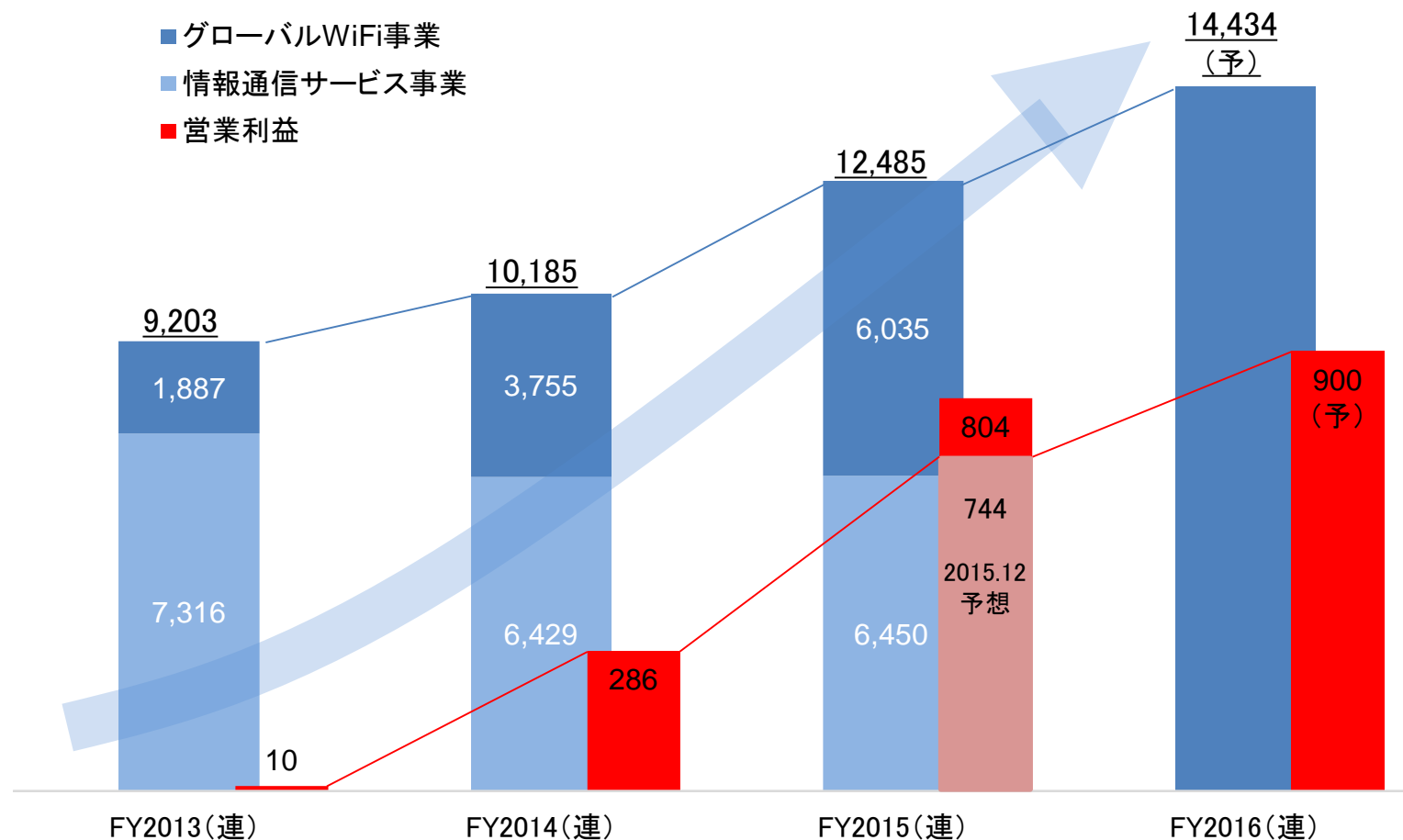
- 電力サービス販売開始
 - 株式会社ハルエネとの協業による新電力サービス「ハルエネでんき」ご案内。
 - 法人顧客向けサービス追加(事業活動支援力向上)。
- スタートアップ企業(新設法人)への取組み
 - 戦略的にターゲットとしているスタートアップ企業(新設法人)との新規契約が引き続き堅調。
 - 当第2四半期累計(2016年1月～6月)実績... 9,622社 (2015年度実績:18,232社) ※
※当社と新規取引を開始した設立後6ヶ月以内の企業(個人事業主含む)合計(当社調べ)

今期(2016年12月期)見通しについて

通期売上高・営業利益推移

売上、利益共に成長を継続。

(百万円)



2016年12月期の連結業績予想

- 事業開発を進めるべく戦略的投資を行うも、売上高、営業利益ともに過去最高を予想。
- 当期純利益においても、前年に寄与した一時的収益(営業外収益・特別利益)が大幅減ながら過去最高を見通す。

(百万円、%)

科目	2016年度(予想)	対前期比		2015年度実績
		増減	増減率	
売上高	14,434	+1,948	+15.6	12,485
売上総利益	8,295	+1,385	+20.0	6,909
営業利益	900	+96	+11.9	804
営業外損益	△12	△15	-	2
経常利益	888	+80	+10.0	807
特別損益	-	△120	-	120
当期純利益	590	+4	+0.8	585

株式会社ビジョン 事業概要

設立年月日	2001年12月4日（創業 1995年6月1日）
経営理念	世の中の情報通信産業革命に貢献します。
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目5番1号新宿アイランドタワー5階
連結子会社	国内2社、海外11社（2016年7月末日時点）
事業内容	グローバルWiFi事業 Wi-Fiルーターレンタルサービス



情報通信サービス事業 情報通信関連ディストリビューター



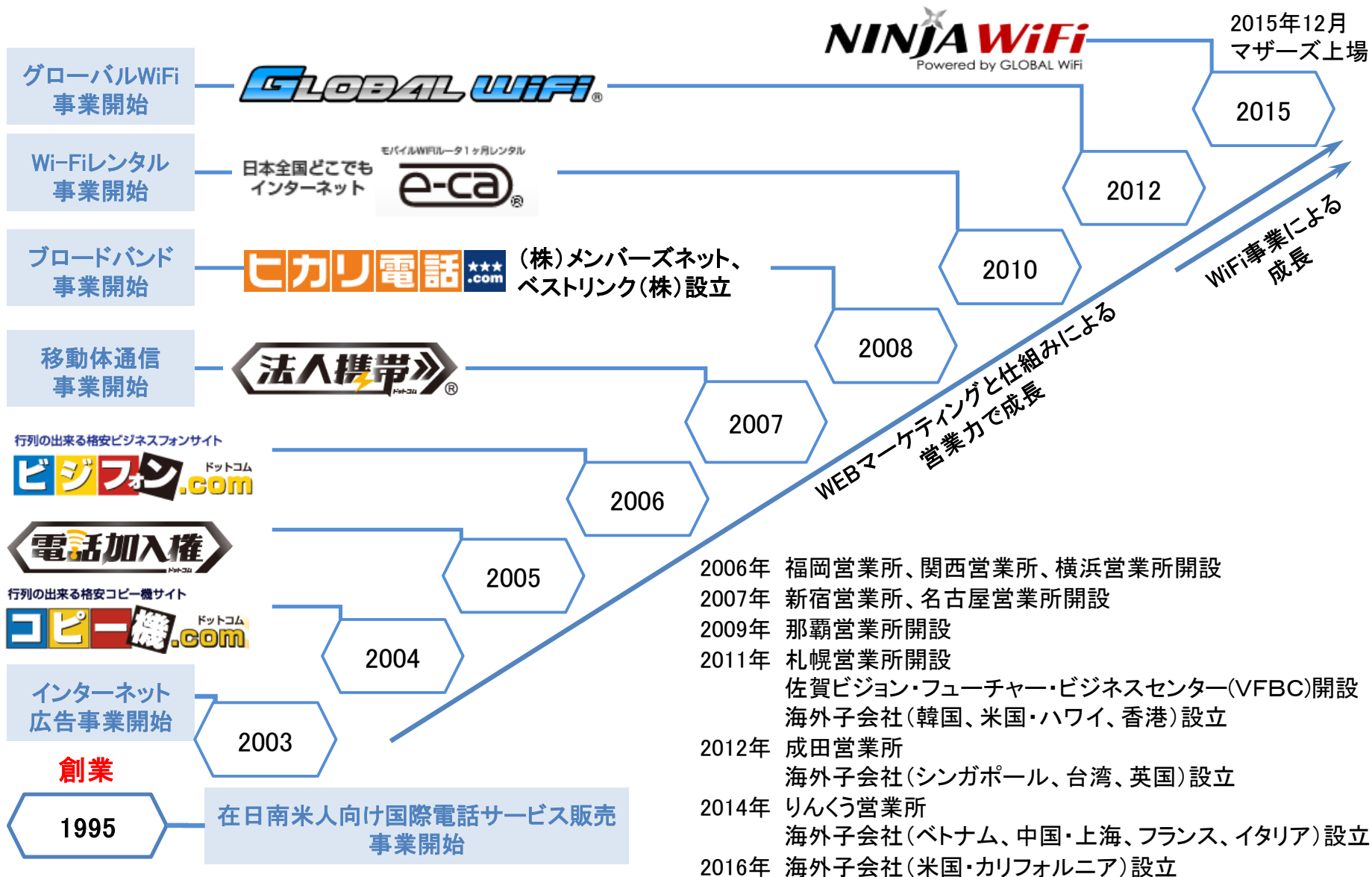
- 国内子会社 2社
- 国内営業所 10拠点
- 国内空港・港カウンター 13ヶ所
- 海外子会社 11社

- 2011年10月 韓国
- 2011年10月 米国(ハワイ)
- 2011年12月 香港
- 2012年1月 シンガポール
- 2012年2月 台湾
- 2012年4月 英国
- 2014年3月 ベトナム
- 2014年4月 中国(上海)
- 2014年11月 フランス
- 2014年12月 イタリア
- 2016年7月 米国(カリフォルニア)
- 登記手続き中 ニューカレドニア



- ● 事業拠点、調達/オペレーション拠点
- 調達/オペレーション拠点
- システム開発拠点(オフショア)

インターネットメディア戦略・仕組み・WiFi事業で成長



グローバルWiFi事業

「グローバルWiFi®」のサービス優位・競争優位



GLOBAL WiFi®

NINJA WiFi
Powered by GLOBAL WiFi

世界中で、いつでも・どこでも・安心・安全・快適なモバイルインターネット環境を提供。

大幅割安
定額制

コストメリット最大▲89.9% *携帯電話会社定額割引比
・一日300円～

最多
エリア

業界最多クラス200以上の国と地域をカバー

快適

世界中の通信事業者との提携による高速通信

安全・安心

セキュア 24時間365日世界39のサポート拠点

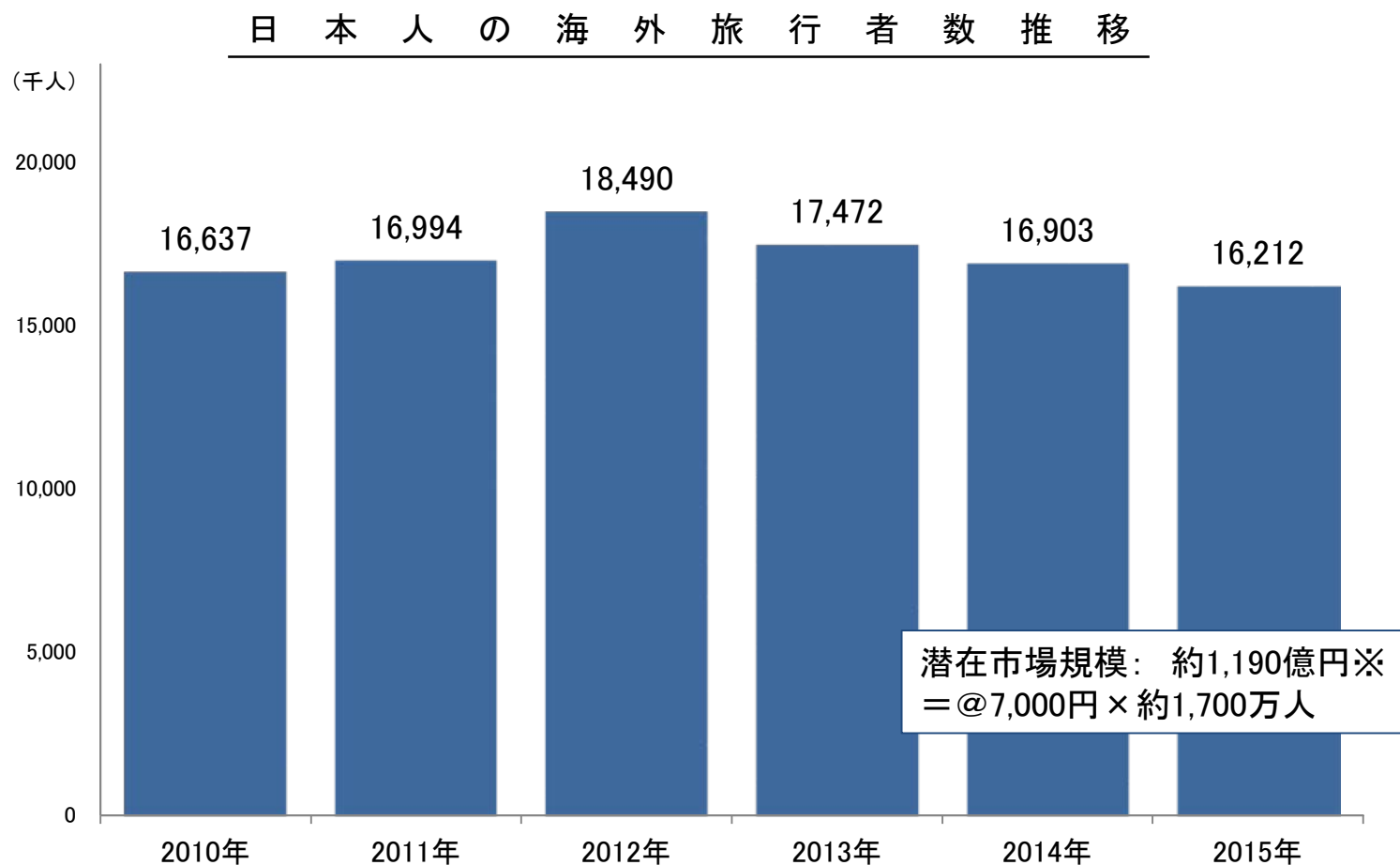
法人営業力

法人需要の取り込み力



旅行者のお気に入り2016
「モバイルWi-Fiルーター」1位

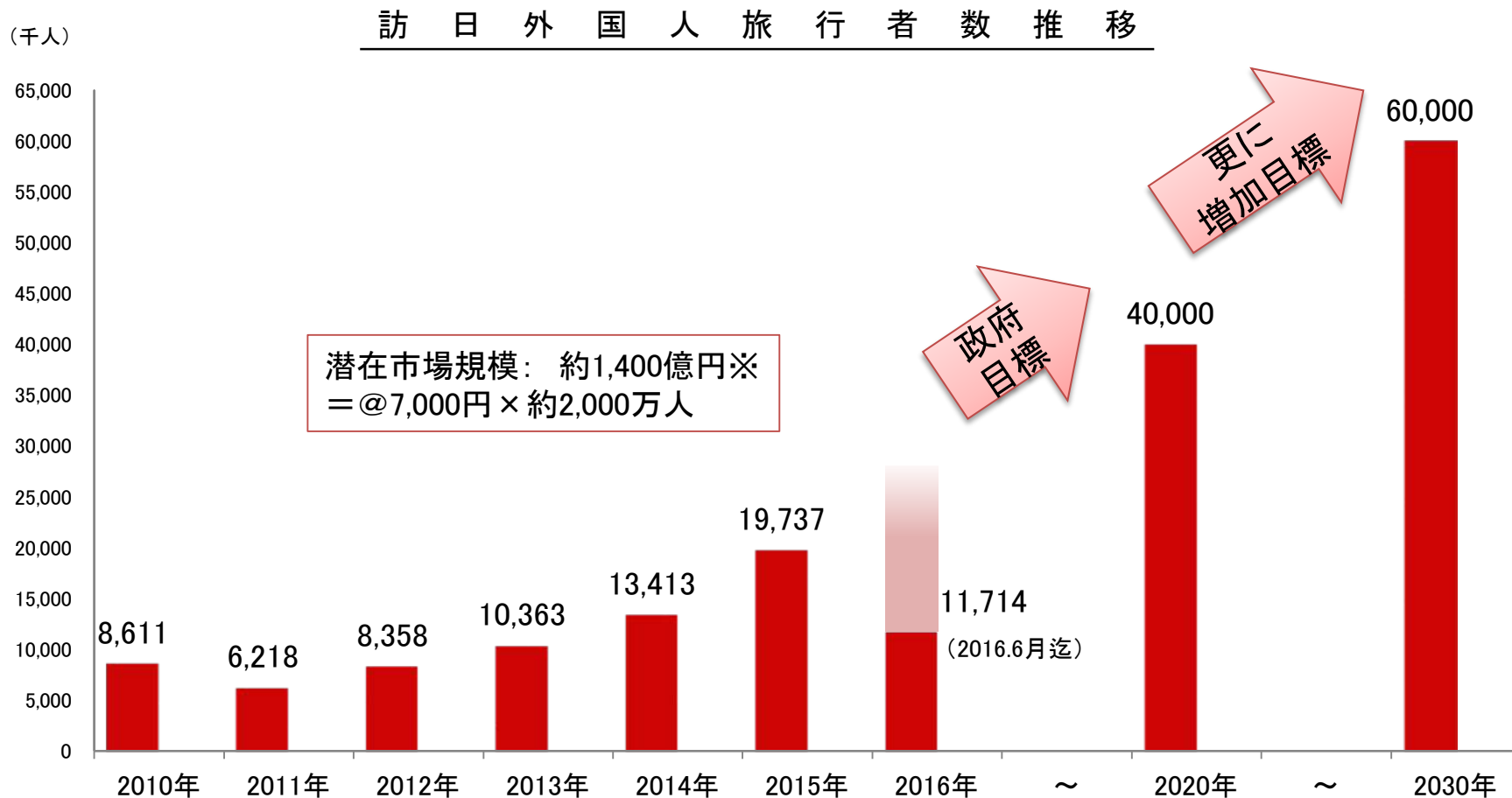
- 年間1,700万人前後で推移。 潜在市場規模: 約1,190億円※



観光庁資料より当社作成
※当社顧客単価平均から試算

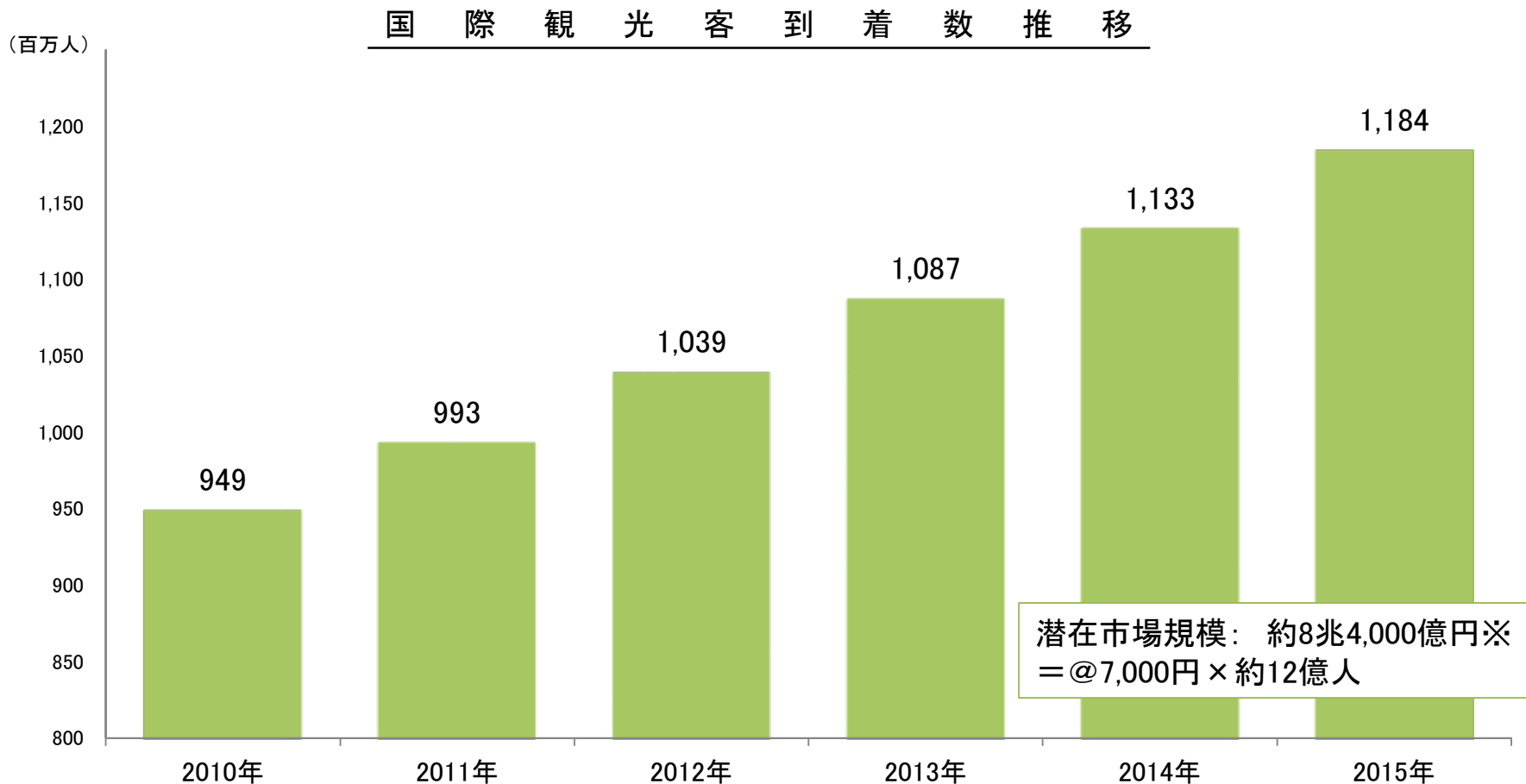
グローバルWiFi事業の市場規模(訪日外国人旅行者)

- 年間約2,000万人規模に拡大。潜在市場規模：約1,400億円※
- 政府目標は、2020年に年間4,000万人。



・観光庁資料、2016年3月「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」より当社作成
※当社顧客単価平均から試算

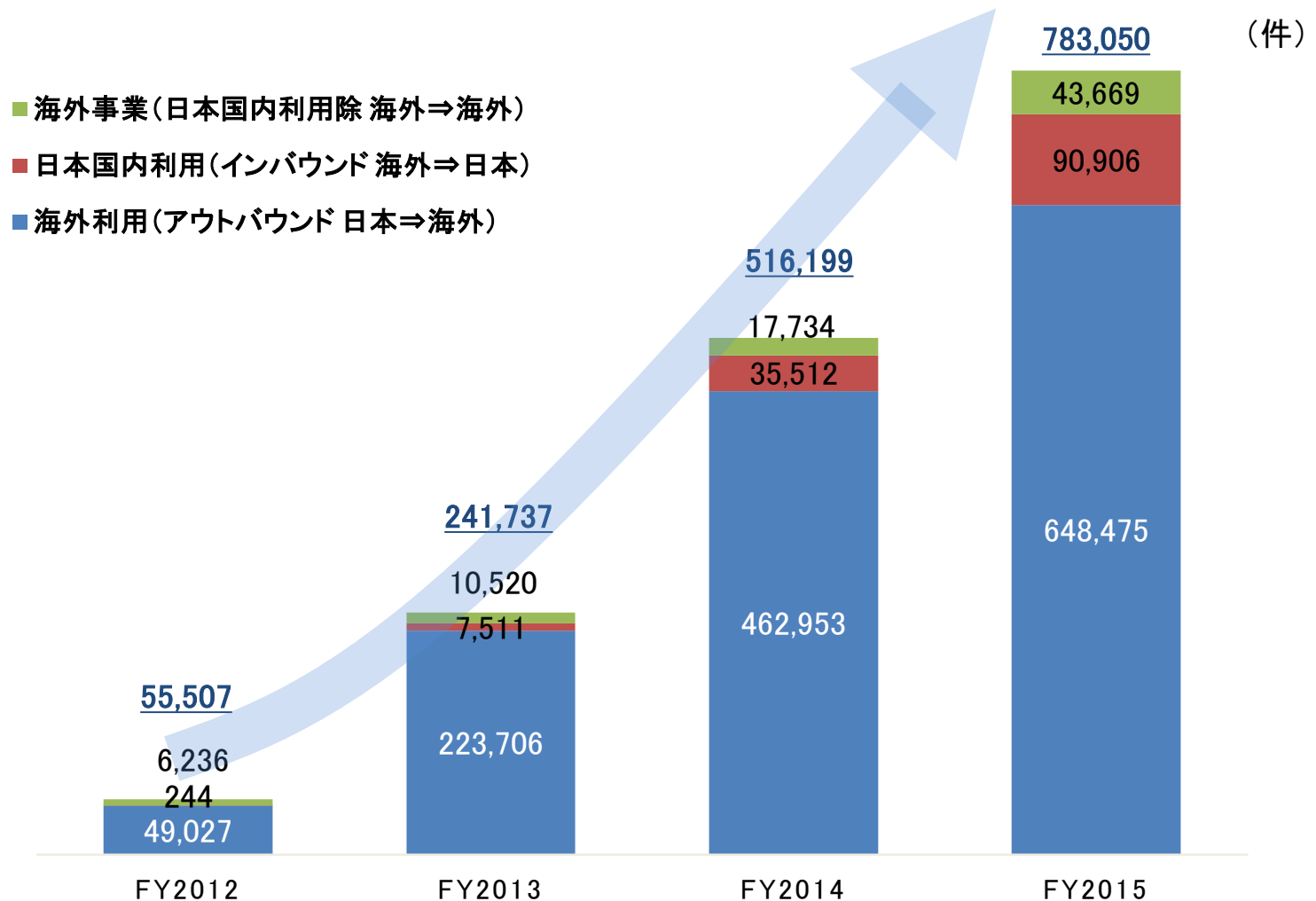
- 海外から海外へのグローバル渡航者は、12億人規模の巨大市場。
- 潜在市場規模： 約8兆円超※



国連世界観光機関(UNWTO)2015年10月公表資料より当社作成
※当社顧客単価平均から試算

グローバルWiFi事業 レンタル件数推移

- 日本市場、海外進出先ともに順調に推移。
- いずれの市場も開拓余地は、まだ大きい。



情報通信サービス事業



企業の成長ステージ・ニーズにあわせた最適な情報通信関連製品・サービスを提供。

スタート アップ

年間合計18,000社以上の新設法人*と新規取引
・全国法人登記件数... 111,238件(2015年) *出典:法務省

WEB戦略

独自のWEBマーケティング(メディア戦略)による
集客力

カスタマー ロイヤリティ

独自ノウハウのCRM戦術
・継続収益の最大化＝ストックビジネス化
・生産性の高いアップセル/クロスセル

* 当社と新規取引を開始した設立後6ヶ月以内の企業(個人事業主含む)合計 (当社調べ)

- 生産性の高い集客～営業～継続型ストックビジネスモデル
 - WEBマーケティングによる成長企業の集客 ・コールセンターによる案内 ・訪問営業
 - 顧客と継続的關係を構築し、ストック型ビジネスモデルとしているCRMスキーム。
- スタートアップベンチャー、チェーン展開企業から高評価。

顧客

スタートアップ
ベンチャー

新設法人との取引を
強力に推進
(2015年度:18,232社)

外食チェーン、
多店舗展開企業等

PULL型マーケティング
照会問い合わせ

的確な
顧客ニーズ
把握

営業
顧客訪問

最適製品・
サービス
提供

カスタマーサポート
継続コンタクト

チャネル

WEBマーケティング

電話加入権
法人携帯
コピート機.com
ヒカリ電話
オフィスセキュリティ.com
MORPH

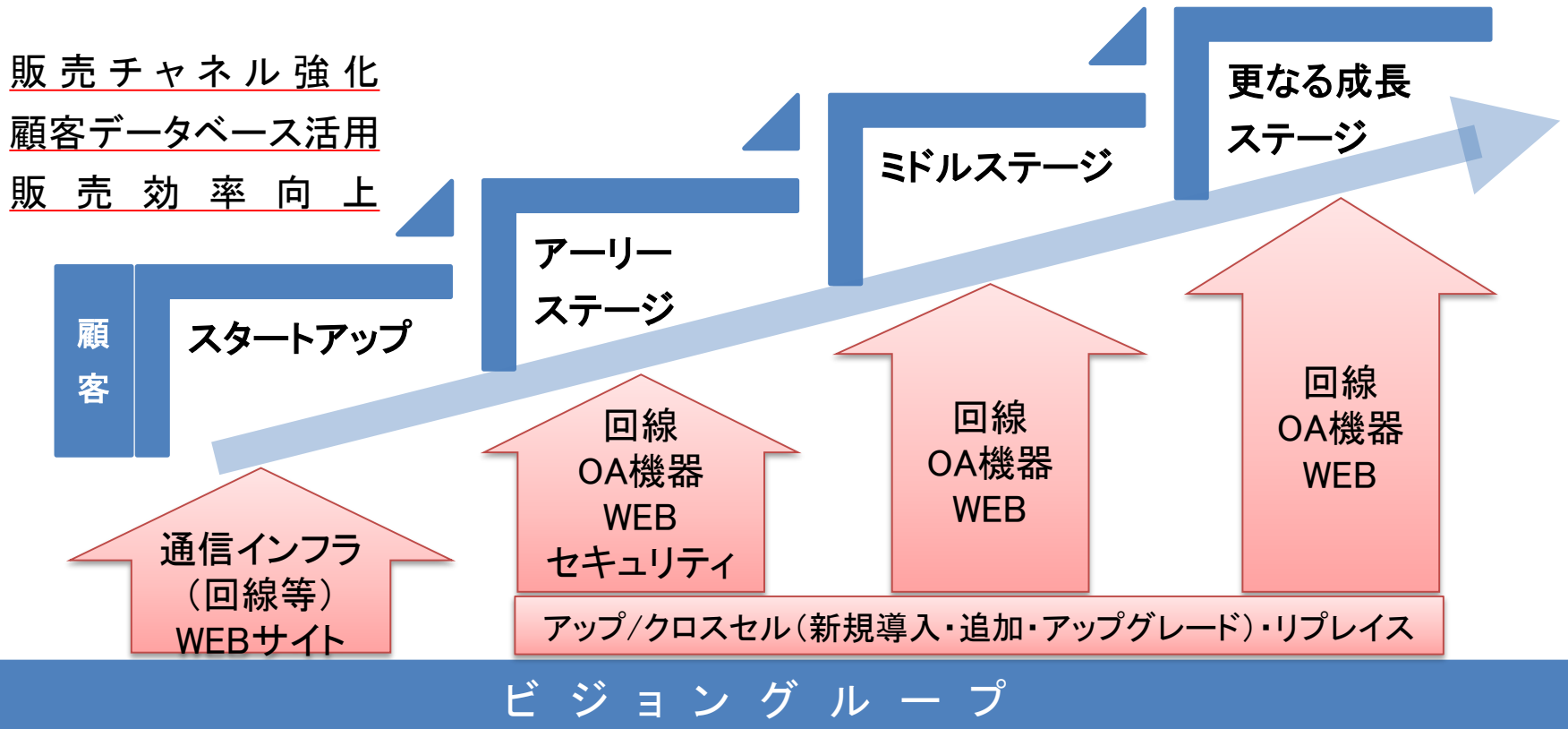
コールセンター

ビジョン・フューチャー・
ビジネスセンター
CLT(カスタマー・ロイヤリティ・チーム)
CRM

メインターゲット

強固な顧客対応力

- 顧客企業の成長によりそい、ステージにあった最適なサービスを最適なタイミングで提供するCRM。
 - 幅広くサービスを提案可能なことによるアップセル・クロスセル。
 - 継続的取引によるストックモデル。



參考資料

決算概要(会計期間) 連結損益計算書サマリー



- 2016年12月期第2四半期決算概要 (会計期間: 4月～6月)

(百万円、%)

科目	FY2016/2Q		前年同期(FY2015/2Q)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	3,465	100.0	2,940	100.0	+524	+17.8
売上原価	1,468	42.4	1,280	43.5	+188	+14.7
売上総利益	1,996	57.6	1,660	56.5	+335	+20.2
販売管理費	1,750	50.5	1,491	50.7	259	+17.4
営業利益	245	7.1	169	5.8	+75	+44.7
営業外損益	△39	△1.1	16	0.6	△55	-
経常利益	205	5.9	185	6.3	+20	+10.8
特別損益	△2	△0.1	24	0.8	△26	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	129	3.7	130	4.4	△0	△0.4

(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

Copyright(C) 2016 VISION INC. All Rights Reserved.



世の中の情報通信産業革命に貢献します。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

- お問い合わせ： 広報・IR部 ir@vision-net.co.jp